

	職場環境要件項目	当施設としての取組み
資 質 の 向 上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	受講に必要な費用を施設から職員に貸与する。資格取得後一定の年数を勤続した場合、貸与した費用を免除する
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	施設管理者と職員との間で定期的に個人面談を実施
労 働 環 境 ・ 処 遇 の 改 善	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	業務外のケガも補償する保険加入あり メンタルヘルス相談窓口あり
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	任意の時間に視聴できるネット研修体制の整備 介護職員の負担軽減に寄与する機械浴槽の導入
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	受診の負担軽減化を目的に、施設内での健康診断の集団検診を導入
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故防止マニュアル作成済み
	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	介護ソフト、タブレットの導入による業務効率化
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎日の申し送りと介護サービスの提供方法の検討が生じた場合に随時出勤職員間でミーティングを実施している
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意などの情報を共有する機会の提供	
そ の 他	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	過去の経験よりも介護施設従事者としての適性を重んじた採用を行う
	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	介護休業、育児休業制度あり
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情や希望を面談等で聞き取り、実現に向け調整あり